
透析患者のリン吸着剤(PB)適正化を目指した当院の取り組み

医療法人衆和会 長崎腎病院 長崎腎クリニック 大村腎クリニック

○中嶋幸海 吉野秀章 前川明洋 澤瀬健次 橋口純一郎 原田孝司 船越 哲

【目的】

当院では、血清リン適正化のために、他職種からなるチームにて患者教育を行っている。今回、新たに PB 処方量を適正化させる「PB 調整フローチャート」を作成し、有用性を検討した。

【方法】

2021 年 1 月にフローチャートの適応となった 94 名をフローチャートに従って、PB 量を調整した。その後の PB 処方数と血清リン値の推移を比較した。

【結果】

9 ヶ月間で PB が減量された患者は 59 名、不変であった患者は 26 名、増量した患者は 9 名であった。対象患者の PB 処方数は月平均一人当たり 145.8 錠から 113.0 錠へ有意に減少した。PB を減量した患者の血清リン平均値は減量前 4.9 ± 1.12 mg/dl、減量後 5.1 ± 1.11 mg/dl と有意な上昇は認められなかった。

【考察】

今回、フローチャート使用により処方数が減量できたことは、主治医や患者にとってオープンで明確な基準が示されたことと、継続的な患者指導により、リンに対する患者の認識が変化したことが有効であったと推測する。